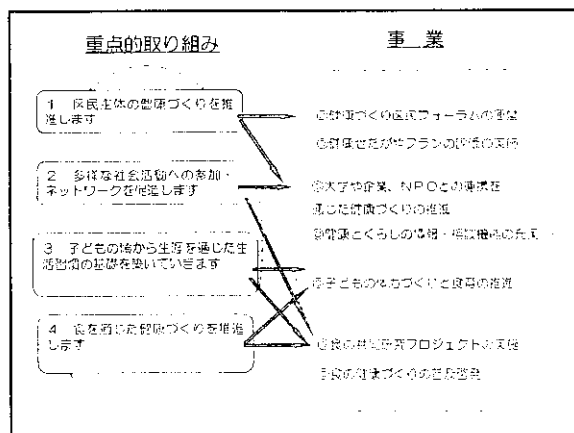
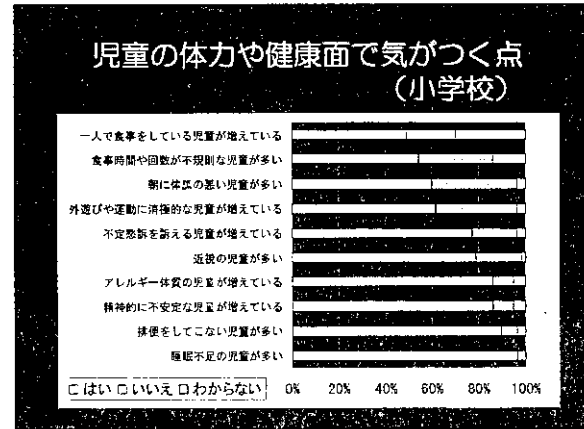


世田谷区の人口

	世帯数	人口
世田谷区	405,306	795,328
世田谷地域	118,191	220,987
北沢地域	77,965	141,276
玉川地域	94,069	195,446
砧地域	62,662	134,470
烏山地域	52,419	103,149

せたがや健康づくり区民フォーラム

- 健康せたがやプラン策定のために、平成12年12月せたがや健康づくり区民フォーラムが設置されました。
- 区民フォーラムは、公募の区民委員8名、活動団体代表8名、学識経験者5名の計21名で構成されています。
- まず、世田谷の目指す健康像を明らかにし、その実現に向けた取り組みを検討しています。
- 検討の方法としては、グループワークを取り入れ、区民委員主体で進行しています。

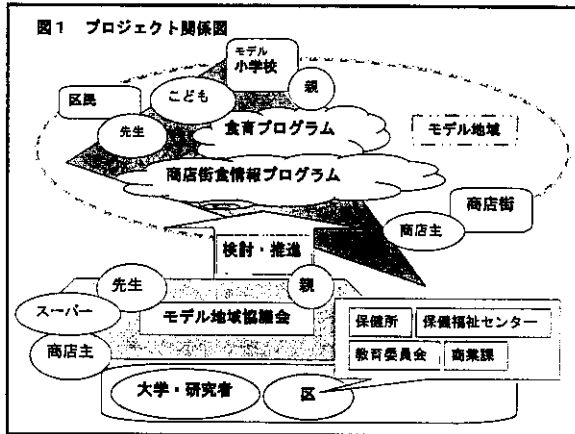


ばくばく健康キッズ&タウン

大学・研究機関と協働して、6つのモデル小学校を中心に、地元商店街、地域住民と連携して地域全体で食の健康づくりを推進する。

特色

- ◎研究&まちづくり
- ◎小学校との協働
- ◎商店街との協働



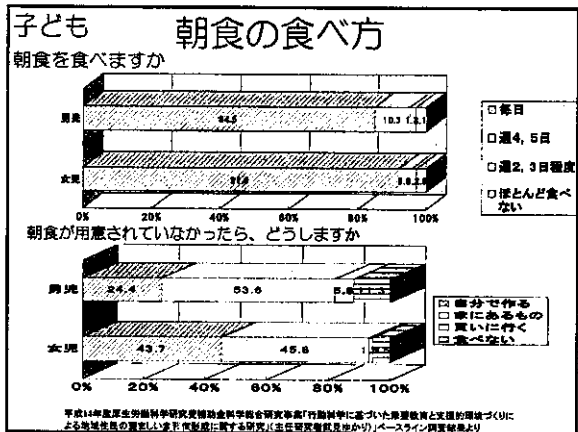
世田谷保健所の役割

学校と地域（商店街）をつなぐ
コーディネーター役

- ① 大学研究者との協働
科学的根拠のある事業の実施
- ② 教育委員会や学校との連携により
子どもたちや保護者への働きかけ
- ③ 商業課及び商店街との協働による
地域ぐるみの取り組み

事業内容

- 1 ベースライン調査の実施
- 2 食育プログラムの実施
- 3 商店街からの情報発信
- 4 健康的な食物提供
- 5 小学校と地域をつなぐ活動
- 6 地域へのPR
- 7 協議会の実施

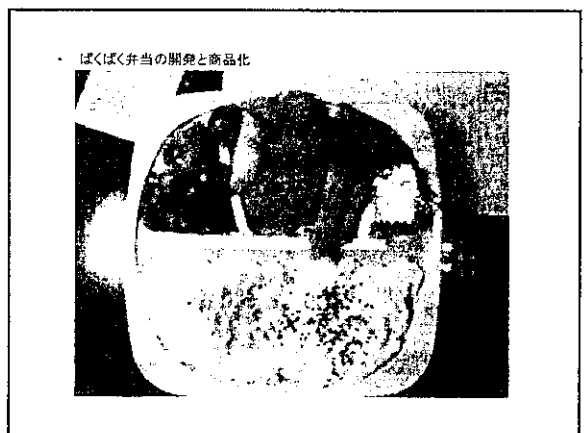
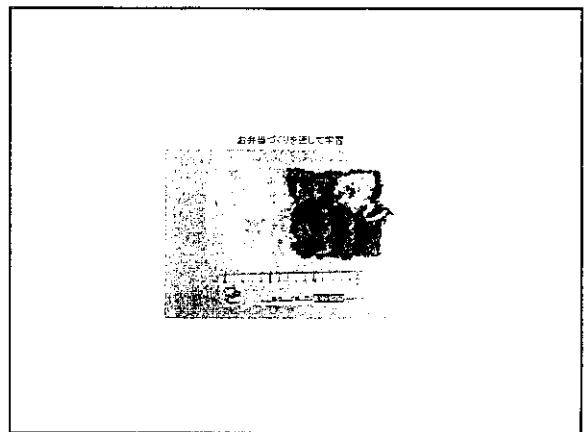
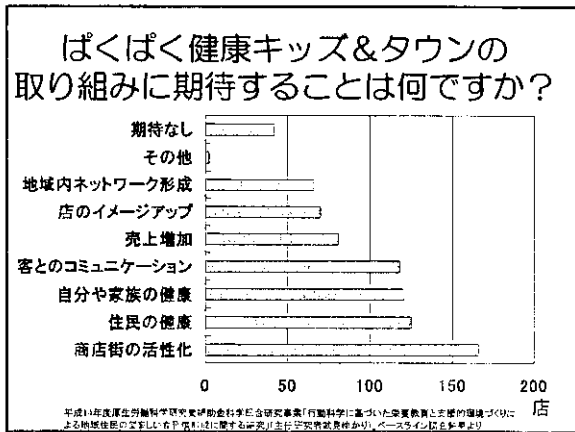
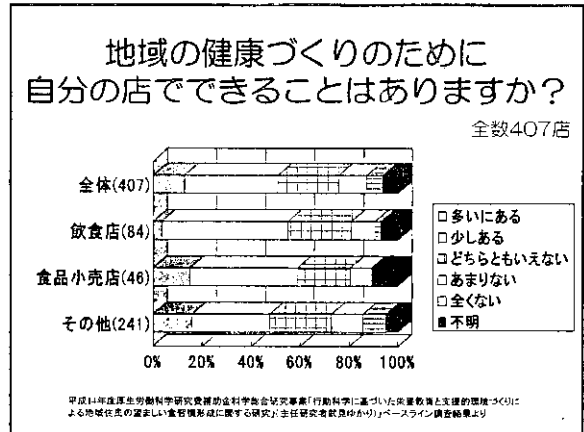
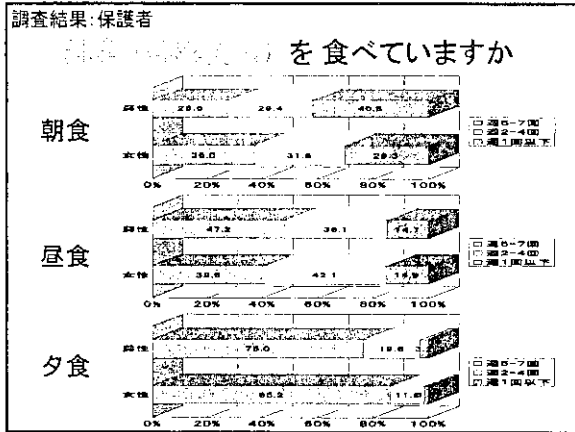


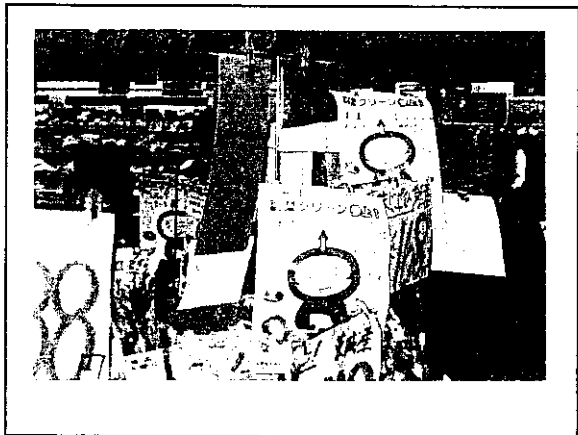
調査結果:子ども 食物摂取状況 (佐々木による小学高学年用簡易式食事歴調査票による)

食品群	品名	平均摂取量	摂取量の目安 9-11歳
主食	ご飯(g)	516	1食当り 190~270
	乳・乳製品(g)	201	300
	うち低脂肪のもの	30	
主菜 の主材料	肉類(g)	79	70
	魚類(g)	66	70
	卵(g)	29	40
	大豆製品(g)	46	60 (豆・豆製品として)
副菜 の主材料	野菜・海藻・きのこ(g)	183	300
	うち色の濃い野菜(g)	84	100
ゆとり食品	いも(g)	32	100
	くだもの(g)	108	200

調査結果:子ども 食物摂取状況 (佐々木による小学高学年用簡易式食事歴調査票による)

食品群	品名	平均摂取量	摂取量の目安 9-11歳
主食	ご飯(g)	362	1食当り 175~220
	乳・乳製品(g)	179	300
	うち低脂肪のもの	42	
主菜 の主材料	肉類(g)	71	70
	魚類(g)	69	70
	卵(g)	29	40
	大豆製品(g)	46	60 (豆・豆製品として)
副菜 の主材料	野菜・海藻・きのこ(g)	200	300
	うち色の濃い野菜(g)	90	100
ゆとり食品	いも(g)	33	100
	くだもの(g)	132	200





食のコミュニケーション会議

区長、市民、大学、企業と連携し、「長久橋の食」を
通じて、シンポジウムやキャンペーンを行ない食を
通じた循環づくりを推進する

特色

- ◎企業 NPO との協働
- ◎自由参加（コアメンバー）

食のコミュニケーション会議

もっと知ろう！食の楽しみ

3月5日
第1回を行
いました。

※開会 13:25

※1部 13:30 基調講演
★「日本人の食文化とスローフード」 ニッポン食卓スローフード協会 会長 長瀬 氏

※2部 14:20 シンポジウム「コーディネート」 東京農業大学 長瀬 氏
◎「食の未来を考えた、食糧サポート隊」
からずやフランス食卓ラ・メゾン、ド・オオゼキ、大瀬 仁 氏
◎「健康づくりと企業の取り組み」
中興東京ヤクルト販売株式会社 小島 正男 氏
◎「ライフステージを考えた食教育への取り組み」
～区民・商店街・地域食育推進会との連携～
きたぞわ福原まねきの会長・北沢地域食卓会連合会副会長 長瀬 正三 氏
きたぞわ福原まねきの会長・福五商店街連合会女性部長 藤本 スズ子 氏

※3部 15:25 意見交換

